

主催事業

「第1回 はやま森の学校」 ～なかまと力を合わせて～

1. ねらい

自然の中での様々な体験活動を通じて、仲間と共に課題を解決することで、豊かな人間性・社会性を育成し、たくましく生きる力を育みます。また、リーダーシップや地域に貢献できるボランティアシップを育みます。

2. 実施日

令和7年6月7日(土)～8日(日)

3. 対象者

小学校4年生～小学校6年生

4. 募集定員／応募人数／参加人数

20名／13名／13名

5. スケジュール

1日目 6月7日(土)
10:30 受付
11:00 開校式
11:30 アイスブレイク
12:20 昼食(持参弁当)
12:50 班活動
13:35 テント設営
14:25 自然体験活動
16:40 野外炊飯(焼きそば作り)
19:00 キャンプファイヤー
21:00 班活動(1日のふり返り)
21:50 就寝

第1回ははやま森の学校のテーマは、『なかまと力を合わせて』でした。はやま森の学校では、初めて会う子どもたちで班を作り、様々な活動を行います。初めて経験することであっても、なかまと力をあわせることで乗り越えていくことができます。そのことを意識して活動してもらうことで、他者と協働することの良さを実感し、実生活に活かしてほしいという願いを込めてねらいを設定し、実践しました。

開会式・アイスブレイク

所長による開校宣言のあと、所員・キャンプ補助員が自己紹介をしました。初めは緊張した表情の子どもたちが多く見られましたが、班に分かれてアイスブレイクのゲームをすると、子どもたち同士で交流姿が増え、どんどん仲良くなっていく様子が見られました。

班活動

3つの班に分かれ、それぞれの班のめあてと、個人で頑張りたいことを考えました。その後、考えたことを旗に書き、班旗を完成させました。完成した自分たちの班旗をととても大切にしていたのが印象的でした。

テント設営

就寝班で、テントの設営をしました。まずは、立て方を知るためにテントを立てる手順を目の前で見ました。その後、自分たちで力を合わせて大きなテントを設営しました。子どもたちは飲み込みが早く、どの班も予定していた時間より早く完成させることができました。



自然体験活動

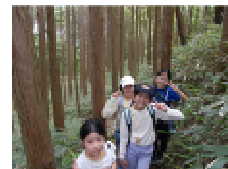
班で相談し、自然体験活動の計画を立て、実施しました。自然体験活動は、自然観察・丸太切り・薪割り・火起こし・飾り炭作り・ハイキング・モルックの7つでした。センターの各所で子どもたちの楽しそうな声が響き、大いに盛り上がっていました。



丸太切りの様子



薪割りの様子



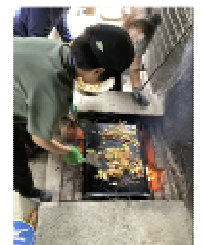
ハイキングの様子



モルックの様子

野外炊飯

夕食は焼きそばを作りました。子どもたちは、鉄板の熱さに負けず、頑張って調理していました。火の大きさを調整しながらいねいに調理しており、焦がさずにおいしい焼きそばを作ることができました。満足そうに笑顔で食べる子どもたちの姿が印象的でした。



キャンプファイヤー

火をつけるためのはやま原人が登場し、大盛り上がりの中、キャンプファイヤーが始まりました。夜の森に子どもたちの元気な声が響き渡っていました。忘れられない思い出になったことを願っています。

2日目 6月8日(日)

7:10 朝の集い

7:30 朝食(カートンドック)

9:00 オリエンテーリング

10:30 イーゼルクラフト

11:30 テント片付け

12:10 昼食

13:00 班活動

14:00 閉会式

朝の集い

起床後、広場で朝の集いをしました。キャンプ補助員と一緒に朝の体操をして、朝から元気に活動しました。

朝食(カートンドック)

朝食はカートンドックを作りました。具材をパンではさみ、アルミホイルで包んで牛乳パックに入れて火をつけました。牛乳パック全体を燃やすことができるように工夫しながら調理していました。



オリエンテーリング

雨の予報に代わったため、2日目のスケジュールを入れ替え、先にオリエンテーリングを実施しました。コンセプトは「はやまのお宝を見つけよう」でした。センターのどこかに隠されている宝箱を探すために、各ポイントにあるミッションに挑戦しました。ミッション内容は、どれも班で力を合わせないと達成できないものでした。宝箱があったのは古墳の中でした。宝箱を開くと、キャンプの最初にグループで撮った記念写真が入っていました。1泊2日の班の仲間でしたが、いつまでもこの思い出を覚えていてほしいという願いを込めて、この宝物を用意しました。



ミッション「みんなでジャンプ」



ミッション「コースターを積み」

イーゼルクラフト

オリエンテーリングでは、ミッションをクリアすると様々なアイテムが手に入りました。そのアイテムを使って、記念写真を飾るためのイーゼルを製作しました。木の枝をヒモで結ぶのは難しく、苦戦しましたが、見事完成しました。その後、イーゼルや写真のフレームに木の葉などをくっつけ、班の写真を嬉しそうに飾りました。



テント片付け

自分たちの使った物は最後まで責任を持って片付けてほしいという願いから、雨で濡れたテントをきれいに拭くことにしました。自分たちの班のテントをきれいにした後には、残ったテントまできれいにしてくれ、見ていても心が温かくなりました。

班活動

最後の活動として、班で反省会をしました。班として達成できたことや、見つけた友達のがんばりなどを出し合い、この二日間の締めくくりとしました。

閉会式

子どもたちとキャンプ補助員は、別れが名残惜しかったです。所長が「森の学校は楽しかったですか？」と尋ねると、みんなが大きな声で返事をし、充実した1泊2日を過ごすことができた嬉しくなりました。

6.まとめ

2日目に少し雨が降ったものの、気温も過ごしやすく天気に恵まれました。けがをしたり、体調不良になったりする子どもも出ず、安全に事業を終えたことが何よりの成果だと感じます。テント泊をしたり、選択制の自然体験活動をしたりと、多くの貴重な体験を提供できたと感じています。ここで得た経験が生活の中で活かされることを願っています。

「第2回 はやま森の学校」

～ 協力 ～

1. ねらい

自然の中での様々な体験活動を通じて、仲間と共に課題を解決することを大切に、豊かな人間性・社会性を育成し、たくましく生きる力を育みます。また、リーダーシップや地域に貢献できるボランティアシップを育みます。

2. 実施日

令和7年8月23日(土)～24日(日)

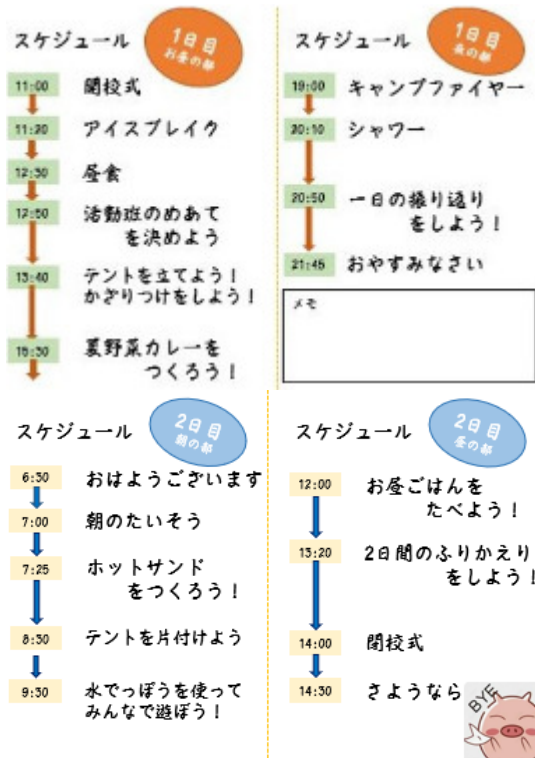
3. 対象者

小学校4年生～小学校6年生

4. 募集定員／応募人数／参加人数

24名／25名／24名(1名キャンセル)

5. スケジュール



今回のキャンプテーマを『協力』とし、班活動を大切にすることを目標として森の学校に臨みました。

開校式では、多くの子どもたちが初めての友達と出会い、期待と不安、緊張する様子がありました。しかし、補助員が行うアイスブレイクでの様々なゲームをすることによって、子どもたちが徐々に打ち解け合い笑顔が見られるようになりました。

班活動ではグループリーダーのキャンプ補助員を中心に、この2日間の班の目標を決め、その目標を達成するために何をしていくことが大事なのかを子どもたちが話し合いました。



次の活動の「テント立て」はみんなで協力をして、テントを立てました。補助員や所員がサポートをし、ケガに注意をして活動を進めました。また途中の休憩時間に「ブルーベリーシャーベット作り」をしました。休憩が終わった後は、テントの飾り付けなどを行いました。



自炊活動は夏野菜カレー作りでした。事前の活動で切った薪と木端を使って、火起こしをしました。協力し合っただの班も失敗なく作ることができました。



キャンプファイヤーでは、補助員のゲームに全員が楽しみ、最後に新たな友達との出会いから今日一日の喜び、驚きを回想しました。自炊場へ戻った後は、1日の振り返り替えりをして、みんなで共有しました。



2日目は、朝食を食べた後、テントの片付けをしました。
役割分担をしながら、1日目よりもみんなでコミュニケーションを取って活動している姿が見られました。



2日目のオリエンテーリングでは、竹水鉄砲を使った班
対抗のゲームをしたり、みんなで水の掛け合いをしたり
して、楽しみました。



昼食は流しそうめん、水鉄砲遊びで疲れた体を癒や
し、楽しみながら食事をしました。



最後の活動の班でのふり返りでは、グループリーダー
の補助員の声に班のみんなが、しっかりと耳を傾け、2
日間を通して学んだことを出し合いました。
みんなで交流を更に深めることができました。
天候にも恵まれ、子どもたちも元気に活動することがで
きたのも、所員の皆さんの協力おかげです。ありがとう
ございました。



第3回 はやま森の学校 ～君のひらめきが主役!～

1.ねらい

自然の中での様々な体験活動を通じて、仲間と共に課題を解決することを大切に、豊かな人間性・社会性を育成し、たくましく生きる力を育みます。また、リーダーシップや地域に貢献できるボランティアシップを育みます。

2.実施日

令和8年3月21日(土)～22日(日)

3.対象者

小学校3年生～小学校6年生

4.募集定員／応募人数／参加人数

24名／26名／22名

5.スケジュール

3/21(一日目)		3/22(二日目)	
時 間	活 動 内 容	時 間	活 動 内 容
10:30-	受付	06:30-	起床・洗面・片付け
11:00-	開校式・オリエンテーション	06:55-	朝の集い
11:30-	アイスブレイク	07:20-	朝食
12:10-	昼食(持参弁当)	08:15-	片付け・清掃
13:15-	班活動①	09:40-	班活動⑤
14:10-	班活動②	11:45-	集合写真撮影
14:40-	班活動③	12:20-	昼食
17:10-	夕食	13:15-	班活動⑥(振り返り)
19:00-	キャンドルサービス	13:45-	全体発表
20:30-	班活動④	14:00-	閉校式
21:00-	就寝	14:30-	解散

開会式・アイスブレイク

所長による開校宣言のあと、所員・中高生のリーダーズ・キャンプ補助員が自己紹介をしました。緊張した表情の子どもたちが多く見られましたが、そのあとのアイスブレイクで体を動かしたり、友達と交流したりすることで、自然と笑顔に変わっていききました。その後は、子どもたちが決めたキャンプネームでお互いを呼び合い、どんどん仲良くなっていく様子が見られました。

班活動

子どもたちは4班に分かれ、それぞれの班のめあてと自分で頑張りたいことを考えました。その後、班長が中心になって、自分たちの班のめあてを発表しました。また、班旗として使うために、ちょうど良い長さの木の枝を

みんなで探して班旗を完成させました。

段ボールオーブンでピザ作り

「ピザ作りにおいてトラブルが発生してどう対応するか」というプログラムを設定しましたが、「段ボールを使ったオーブンで作ろう」という自然な流れになり、子どもたちもスムーズに活動に移ることができました。その後、発酵させたピザ生地を成形し、みんなで作った段ボールオーブンに恐る恐る入れ、不安と期待が入り交じりながら焼き上がりを待ちました。ピザ窯で焼いたピザと遜色ない焼き上がりにみんなの歓声が自然と沸き上がり、拍手も起きました。



キャンドルサービス

夕食後のキャンドルサービスでは、キャンプ補助員とリーダーズのゲームを楽しみ、大いに盛り上がりました。最後には、みんなでテーマソングを歌い一人一人のろうそくに火を灯し、願いを込めて一斉に消しました。

オリエンテーリング

4 班に分かれ、オリエンテーリングをしました。今回のテーマは「GL の大切な星を探し出せ」ということで、初日に GL のネームプレートにモールで作った星型の飾りを目立つように取り付け参加者の子どもたちに見せつけ、「あの飾り、いいなあ。」「私も欲しいな」と思ってもらえるように印象づけさせておきました。オリエンテーリング前の片付け作業中に GL の星型の飾りが紛失する事件が発生。班員は GL の星飾りを探し出すために難しいミッション(手旗解読等)や難解な問題に挑戦し、ゴールは GL の背中に星飾りがうっかりついていたというオチで終わりました。



班活動(ふりかえり)・閉校式

最後の活動として、班で反省会をしました。班として達成できたことや、見つけた友達のがんばりなどを出し合い、最後に GL から班員ひとりひとりに星飾りが手渡されました。初日に「いいなあ」と思っていた星飾り、OL で一生懸命探した星飾り、それが最後に自身にも星飾りがプレゼントされ感動的な瞬間となりました。涙ぐむキャンプ補助員もいました。

6.まとめ

今回のプログラム内容はいつくるかわからない災害発生時においても、身近にあるものを使って様々な用途として使えるかについて考え、楽しさをまじえて自分の中に取り入れてもらいたいという思いでキャンプ補助員と一緒に考えました。どこまで子どもたちの中に残せたかはわかりませんが、この思い出が生きていく術のひとつになればと思います。